

第1号様式（第7条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 市 長		平成 29年7月29日
報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 千葉県千葉市美浜区中瀬1丁目5番1号		報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） イオンリテール株式会社 代表取締役 岡崎 双一
京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。		
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	I S O 1 4 0 0 1	
適 用 範 囲	イオン(株)、イオンリテール(株)、他7社	
導 入 年 月 日	2 0 0 0 年 6 月 2 8 日	
認 証 番 号	E C 0 0 J 0 0 3 3	
基 本 方 針	1、イオンサティスビリティー基本方針 循環型社会の構築、持続可能な社会の構築 2、環境指針 ①低炭素社会の実現 ②生物多様性の保全 ③資源の有効利用	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	1、電気使用量の削減 2、食品の廃棄売変の削減 3、資材使用金額の削減	
目標を達成するための取組の内容	1、電気使用量の削減 省エネ設備導入、省エネチェックリストによる日々のエネルギー管理 2、食品の廃棄売変の削減 販売計画に基づく発注精度向上。見切販売、試食による食品の売切。 3、資材使用金額の削減 資材の適正発注、コピー使用量の適正管理。	
目標を達成するための取組の進捗状況	全店舗で上記の取組を実施した。 電気使用量の削減は、季節ごとの省エネチェックリストによる運用管理を実施したが維持継続にとどまる。食品廃棄売変は目標達成できず。資材削減は、買い物袋（レジ袋）の有料化を継続実施。	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	電気使用量の削減は、夏の気温が低めに推移した為、維持継続にとどまる。資材削減は、買い物袋（レジ袋）の有料化と食品以外の袋軽量化改善で削減できた。特に食品廃棄売変は、達成できず今後も継続して、発注精度向上、見切り、試食による売切り体制の取組みを推進したい。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	各店舗で年度初めに「法規制該当一覧」を作成し、遵守すべき内容を把握、年度終了後に1年間の遵守状況を評価している。一部の店舗で、水質検査の結果が基準オーバーがあったが、期間内に改善されている。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	年1回の「内部監査」及び認証機関であるJACOの「サーベイランス」の結果に基づき、評価、見直しを実施している。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。